

頑張れ!
未来キッズ

藤井聡太さんのような攻守に秀でた将棋で
将来はプロ棋士になって活躍したい

たむらまこと
田村真誠さん
小学3年生・8歳



Chess Player



小 学1年の春に将棋を始めたという田村真誠さん。初めて出場した「第20回全国小学生倉敷王将戦 千葉県大会Bクラス」で優勝、翌年には「第21回全国小学生倉敷王将戦 千葉県大会代表クラス」で準優勝し、全国大会に出場するなど、めきめきと実力をつけています。

好きなものにのめり込んだらとことん突き詰める性格という真誠さん。人一倍負けず嫌いで、何事にも一生懸命。最初は月2回だった将棋教室も、本人の希望で八千代市の将棋教室に入り直し、週に5回ほど通うという熱中ぶり。さらに週末は月に2〜3回、都内の将棋道場へ足を運び、普段とは違うメンバーと対局して腕を磨いています。8月に初段免状を取得し、現在は二段の認定を受けている真誠さん。強い相手との対局機会が増え、相手に負けることも多いそうですが、悔しさをバネに日々の練習に取り組んでいます。

母の桃子さんは、家でも将棋が楽しめるよう将棋の大盤を手作りしたり、真誠さんが学校に通いながら自宅で詰将棋の時間を捻出できるよう時間管理を手助け。父の泰俊さんは、「本人がやりたいと思っていることを親としてはなるべく応援したい」と将棋教室への送り迎えをしたり、大会に同行したりするなど家族ぐるみでサポートしています。好きなものは勝つまでやり続けたいという真誠さん。「今は将棋が楽しいので、何よりも優先したい」とキラキラとした目で話してくれました。

【一問一答】真誠さんにインタビュー



— 将棋を始めたきっかけは？
コロナで学校に行けなかったとき、プロ棋士・藤井聡太さん監修の将棋トレーニングゲームに熱中。弟と毎日1時間くらいやっているうち、駒の動かし方やさまざまな手筋を覚えることができ、将棋が楽しくなりました。

— どうして将棋教室に？
将棋が楽しかったので、実際に人と対局してみたく、「将棋教室に行

きたい」と自分から親に言いました。将棋教室では、同世代の仲間や大人のメンバーと対局をして実力を磨きます。ほかにも「居飛車と振り飛車のメリットとデメリット」など、勝つための戦法を先生が詳しく教えてくれます。

— 将棋の楽しさは？
いろいろな手筋を覚えて、レベルアップできることです。負けたときの棋譜はきちんと分析して敗因を探り、次の対策を練ります。その結果、今まで勝てなかった相手に勝てるようになったときは特にうれしいです。

— 自分の強みはどんなところ？
守りよりも攻めが得意で、激しい戦法が好きです。対局中は、たとえば王様と飛車などの2つの駒を「両取り」

する手をねらうなど、常に相手より優勢になれるよう心がけています。

— 憧れの棋士は？
藤井聡太さんです。タイトルを10期獲得するなど、多くの最年少記録を持っているのがかっこいいと思います。また、最近覚えた「角換わり」(序盤で角交換をして駒組みを進める指し方)を得意としているところも尊敬しています。

— 将来の目標は？
もっと強くなって、プロ棋士をめざしたいです。プロへの道は簡単ではないと思いますが、対局や詰将棋などやれることをコツコツと続け、プロ棋士になれるように努力していきたいです。

Cheering message



勝田台しょうぎセンター / 席主 小高 弘之さん

「将棋で一番大事なのは礼儀。挨拶で始まり挨拶で終わる、気持ちのいい対局姿勢を心がけてほしいですね」

継続して取り組む姿勢が重要

真誠さんが小1の頃から指導する小高先生は、真誠さんの性格を「秀才肌で負けず嫌い、コツコツ努力を積み上げていくタイプ」と分析。真誠さんの場合、将棋が好きで強くなりたいという強い思いがあり、そのための努力を惜しまない姿勢を高く評価しているそうです。将棋に求められる資質は、「圧倒的に将棋が好きかどうか、そして強くなりたいと思えるかどうかです。才能がある子はたくさんいますが、その才能を開花させるには、継続して取り組む姿勢が不可欠」といいます。さらに小学生の場合は周囲の理解が欠かせないことも触れ、「真誠さんの場合はご家族の全面的なサポートがあり、大きなアドバンテージになっています」とエールを送ります。来年の大会では高学年の部に出場予定の真誠さん。「優勝できるかどうかは運も大きいですが、全国のライバルとしのぎが削れるような実力を身につけてほしいですね」(小高先生)。



①同じ将棋教室に通う弟の守さん(1年生・6歳)と対局する真誠さん。②詰将棋や将棋の解説本から多くの手筋を学んだそう。③キッチンカウンター下の大盤は、桃子さんが100円ショップの材料で自作したもの。

とある1日のスケジュール

- 5:30.....起床、詰将棋
- 6:30.....朝食
-
- 学校の授業
-
- 15:30.....下校
- 16:30.....将棋教室
- 18:30.....帰宅
- 19:00.....夕食
- 19:30.....詰将棋、勉強
- 20:45.....就寝



(左から)母・桃子さん、弟・守さん、本人、父・泰俊さん。コロナの自粛期間中は、家族で将棋対局「田村リーグ」を開催して大いに盛り上がったそう。

